

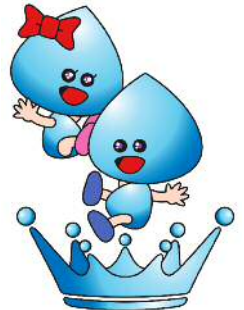
水道事業を学ぼう！ 迫桜高校生職場体験学習

■ 職場体験学習で迫桜高校生が水道事業について学びました

宮城県迫桜高校では校外学習の一環として職場を訪れ、仕事を体験する「職場体験学習」がおこなわれており、登米市水道事業所では7月5日（金）に登米市出身の1年生2名の生徒を受け入れました。

当日は、水道事業所やお客様センター・保呂羽浄水場・下り松取水塔などの見学と業務体験をおこない、水道水ができるまでや各部署の業務内容などを学びました。参加した生徒さんはこの水道事業所職場体験を通じて、水道への関心を高めると共に将来の進路についての参考になったのではないのでしょうか。

今回の水道トピックスでは、「職場体験学習」の様子をお知らせします。



◆ 登米市水道お客様センター見学

お客様センターでは水道に関する問い合わせ、水道の開始・休止も申し込み・支払窓口・検針・水道料金の請求・メーターの取り付け取り外しなどをおこなっています。



センター長から業務の内容説明を真剣に聞く生徒さん。



水道メーターの仕組みや一般家庭の使用水についてなどを学びました。

◆ 保呂羽浄水場見学

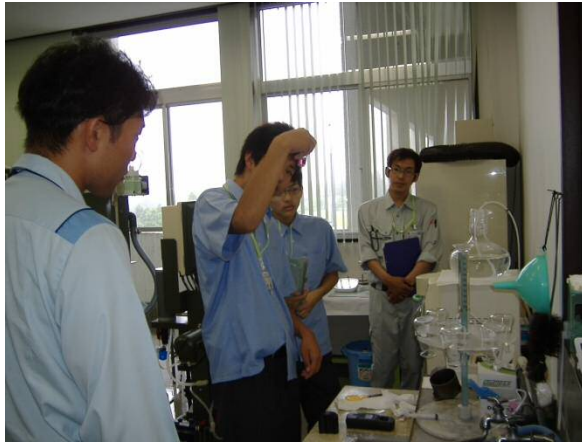
保呂羽浄水場では北上川から水を汲み、原水を浄水して登米市全体で使用する水の約8割を供給しています。



着水井や混和池など保呂羽浄水場施設の説明を受けました。



浄水場内にあるシステムで市内の各浄水場も管理しています。



安全で安心な水を供給するため常時作っている水の水質検査を実際に行いました。



濁った水に薬品を入れ、簡易ろ過装置を通し、きれいな水を作る浄化を体験しました。

◆給水車の説明

給水車はタンクに水を入れて断水時等に出動し給水します。登米市では2 t 車を2台保持しています



実際に給水車を稼働されて、各機能について学びました。



◆職場体験をおこなった生徒さんの感想

職場体験学習を終えた生徒さんから、今回の職場体験をまとめたレポートをいただきましたのでレポートの一部を紹介します。将来の目標に向かってがんばってください。

- ・私はこの職場体験をととても充実した時間にできたと思います。事前の準備等もしっかりできたのでよかったです。最後に、水道事業所管理課の皆さん、登米市役所の皆さん、貴重なお時間本当にありがとうございました。
- ・この体験を通して公務員とはどのような仕事、活動をするのかがわかりました。将来、自分が公務員になった時にこの体験で学んだことを生かしたいです。本当にありがとうございました。